

# 令和3年 8月の優しさ通信



## 人生100年時代、お金の誤算

### 1位 介護費用の負担が重い お金の準備でパニック防ぐ

\*90歳を超えると、ほぼ2人に1人が要介護、要支援の公的サービスを受けています。

\*介護はある日、突然やってきます。ある種の「危機管理」と考え、お金の準備を。

\*在宅では「老々介護」が年々増えており、双方がともに65歳以上の割合は既に6割近く。

### 2位 老後も支出が減らない 生活水準下げる選択肢も

\*老後に「交際費」が大幅増になる世帯は多くあります。

\*退職金で気が大きくなり、浪費に気づかない人も。

\*生活水準を下げる覚悟も。



### 3位 住居費がかさむ 家の「古い」にも対策を

\*30代で購入した家は80代には築50年。

\*戸建ては自ら屋根や外壁の定期修理の費用を工面。

\*マンションも古くなると、修繕積立金の値上げが現実味を帯びます。

\*古くなると、交換・修理費が家計を圧迫。

\*いざとなれば、高く売れる価値のある物件を選ぶ姿勢も必要。

\*賃貸の場合、高齢になると賃貸契約が難しくなる懸念。

### 4位 住宅ローン問題 「退職金で返済」は慎重に

\*晩婚化などで住宅購入が後ろ倒しになり、定年直前でも多額の住宅ローンが残る世帯があります。50代の負債は上昇傾向。

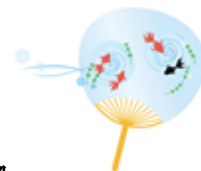
\*改めて返済計画をよく確認。

### 5位 預貯金が足りない 長生きを念頭に計画

\*寿命が延び、資金が不足する例は多くあります。

### 6位 年金が想定より少ない 高年収者ほど注意

\*ねんきん定期便などで正確な年金額をつかみます。



### 7位 高齢者狙う金融商品で失敗 運用丸投げは禁物

\*時間をかけた長期運用を。

\*自分で仕組みがわからない商品に手を出さない。

\*運用は自分で考える姿勢が必要。

## 8位 認知症問題 「自分事」として備える

\*「自分に限って大丈夫」と思い込むことが問題を深刻化させます。

## 9位 リタイアできない 働き方、再検討を

\*何歳までどう働くか、真剣な検討を。

## 10位 保険がムダに 家族と情報を共有

\*保障内容が理解できておらず、請求し忘れて保険金を手にできないケースがあります。

\*生前に家族へ保険加入をしっかりと伝えていなかったことで、保険金請求さえしないで終わってしまうこともあります。

\*保険金請求には時効があります。

(2021年7月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 今月の福祉用具－自助具 自助具の選び方

### 整容用機器・自助具の選択基準

1. 整容動作を行う中で、何が不便か、問題点を見極めてから使用を試みます。
2. 毎日使用する品は、衛生的な保存管理ができるように配慮します。
3. 電動歯ブラシの先端部分の差し替え、髭剃り用刃の取り替えなどの細かい操作は、ワンタッチ式など可能な限り容易にします。
4. 口紅やドライヤーのスタンドホルダーは、自分が動いて楽な姿勢がとれるよう、設置の位置、高さを考慮して試みます。
5. 一般商品への加工は、使用者に適合させたものにします。
6. 心理的、社会的、経済的に受け入れられるものを選びます。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

